

エアロトヨタ株式会社

楽楽精算と周辺システムの安定的なデータ連携で生産性が大幅向上 SAPなど複数システムと連携し、経理業務の人的負担、遅延を解消

エアロトヨタ株式会社は、「空にさがけ 未来をひらく」を理念に、救急医療を支えるドクターヘリやプライベートジェットの運航など、ヘリコプター、ビジネスジェットを軸とする「航空事業」、および国土保全や社会インフラ維持など幅広い分野に貢献する、国内屈指の計測技術を駆使した「空間情報事業」を2本柱にビジネスを展開。同社ではかねてより経費精算システムと、基幹系会計システムおよび人事システムとの間で支払マスター、従業員マスター、仕訳データの連携をAPI経由で行う仕組みを開発、運用してきた。しかし、実行時エラーなどの問題がたびたび発生し、経理業務に遅延や、リカバリーにかかる多大な手間が課題に。そこで、電子帳簿保存法への対応などを目的に、既存の経費精算システムを楽楽精算へとリプレースするタイミングで、「ASTERIA Warp Core」を導入。結果、周辺システムとの安定的なデータ連携処理を実現し、課題をトータルに解消することを可能にした。

導入背景

- 従来は経費精算システムと周辺システムを、個別にプログラミングしたシステムで連携
- エラー発生時には、経理担当者の作業が停滞し、トラブル対応にあたる情報システム部門の担当者の作業負担も増大。さらに、連携結果の目視チェックも発生していた
- 経費精算システムを楽楽精算にリプレースするにあたり、安定的にデータ連携が行える仕組みを整備することが重要なテーマとなっていた

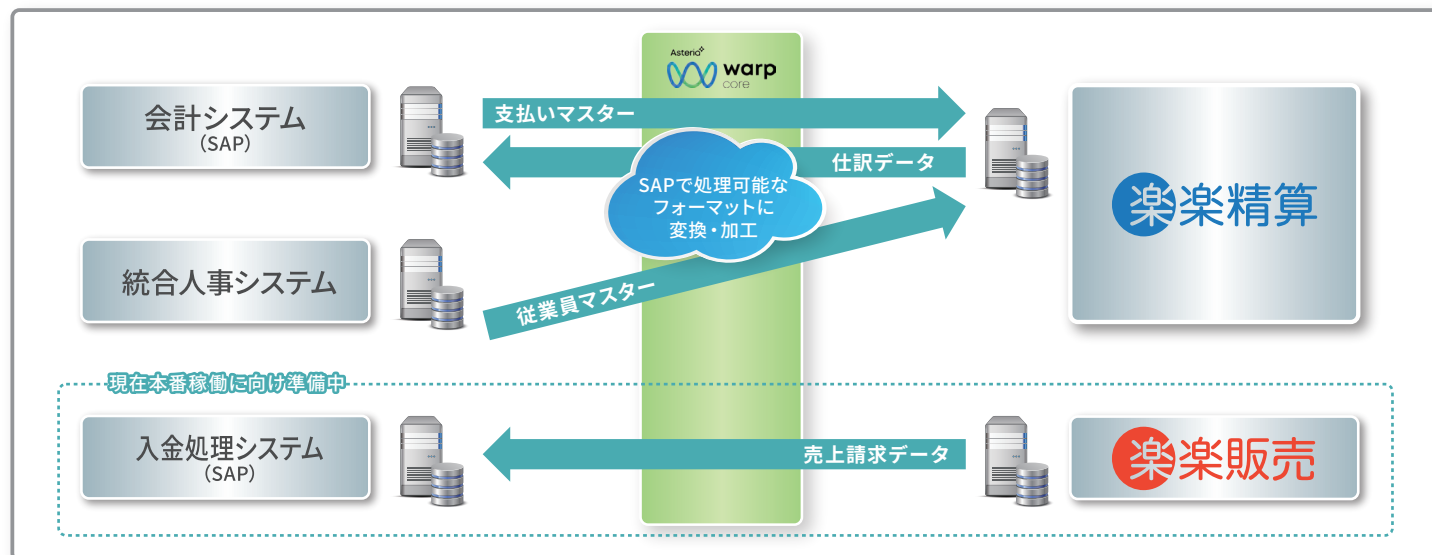
選定ポイント

- 楽楽精算を提供するラクス社から、楽楽精算とのAPI連携で豊富な実績をもつ製品として推薦された
- グラフィカルな画面上で、必要なパーツをドラッグ&ドロップで配置していくという直感的な操作で、連携処理を容易に開発可能
- 多様なシステム間の連携実績が豊富で、今回の連携処理に限らず、今後のシステム展開のなかで発生する、あらゆる連携のニーズにも汎用的に応えてくれる

効果

- データ連携処理が常時安定的に稼働。トラブルによる経理部の業務停滞や、情報システム部門による対処の必要性なども皆無となり、人的負担の削減、生産性の向上を実現
- 支払マスター、従業員マスター、仕訳データという3つのデータ連携にかかわる仕組みをスピーディーに開発。2カ月弱という短期プロジェクトを当初の予定通り完了
- 楽楽精算からSAPへの仕訳データの連携には、複雑な条件分岐による処理が必要だったが、多様なロジックも柔軟に実装できた

システム概要



ユーザーのひと言



ASTERIA Warp Coreを活用したデータ連携の適用領域は、導入時の期待どおり、経理部を超えて営業部門にもすでに拡大。新たに導入した楽楽販売と、基幹側の入金処理システムとの間のデータ連携の仕組みを、ASTERIA Warp Coreの活用により構築し、現在、本番稼働に向けて準備中です。さらに、情報システム部門では、ASTERIA Warp Coreにかかわるスキルの習得に向けた動きも出てきており、今後は稼働中の連携フローについてのちょっとした改修を自社で対応していきたいと考えています。

エアロトヨタ株式会社 白井 様

User Profile



所在地：東京都江東区新木場四丁目7番41号

会社概要：地理空間情報と空のモビリティを駆使し、社会に役立つサービスを提供している

業種：運輸・通信業

URL：https://www.aeroasahi.co.jp/